

水道料金の15.2%値上げについて(令和2年4月より)

【これまでの経緯】

吹田市は、平成9年から19年間値上げせず、府内でも最も安い料金水準を維持するも、水道施設の更新費用の増大、水の使用量の減少に伴う収入減により、平成28年から段階的に10%値上げ。その際、料金改定原案17.7%値上げから10%へ下方修正したことに伴い財源不足が生じたことで、**5つの基幹管路の耐震工事等、本来必要な工事を先送り**→

結果、目標である基幹管路の耐震化率**51%**が未達成に

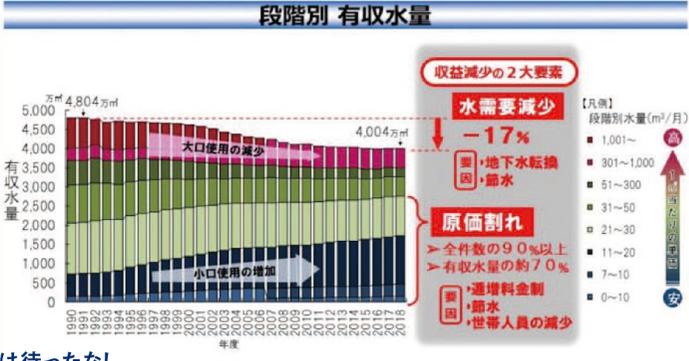
現在の水道経営状況

- 節水機器の普及により年々、水需要減少
- 地下水利用への転換により、利益の大半を占める大口利用が減少⇒収益悪化、供給単価の低下
- 経年管の更新、老朽施設の更新、基幹管路等の耐震化は待たなし
- 水道は公営企業のため独立採算(基本的には水道料金収入で運営)

1. 水道料金の改定案

1-1 趣旨・概要(水需要の減少と供給単価の低下)

本市の人口は増加傾向ですが、有収水量は平成3年度(1991年度)をピークに減少傾向にあります。逓増料金制のもとで少量使用化(節水、地下水利用への転換)が進んでおり、有収水量の減少とともに供給単価(売り値)が低下しています。



沢田の見解

このように水道行政は大変厳しい環境下であり、吹田に限らず、全国的に『収入・人口減少下の大量施設更新』という事態に直面しています。今後も、安心安全で美味しい水を確実にお届けするには、値上げは避けられない状況ではありますが、値上げ前に更にコストダウンの余地はないのか議会で質しました。

【沢田の質問】

質問① 人口減少期も見据え、コストの削減効果の大きい、施設や管路のダウンサイジングも進めるべき

水道部長 隣接市等との広域連携により、配水場の統廃合を進めている。また、水道管更新の際に、適正な管口径とするダウンサイジングも進めている。将来的には、泉浄水場と片山浄水場の機能を統合し、施設の再構築で大幅にコストの縮減を図りたい。

質問② 吹田市は基幹管路の事故割合が高い。値上げするのなら管路の老朽化対策や耐震化等のペースをあげるべき。

水道部長 新しく布設する管路の耐用年数は約100年なので、管路総延長726kmの1%以上の8kmを財政状況に左右されることなく、毎年一定して更新していく。

質問③ 類似団体と業績評価を数値比較すれば、本市は事業の効率性や生産性が低いと読み取れる。値上げ前に人件費の抑制などさらに進めるべき

水道部長 これまでメーター検針業務や浄水場夜間管理運転業務などの委託を進め、組織のスリム化を図ってきた。今後も、計画に基づき、窓口業務の包括委託など、更なる民間活力の導入を検討する。更に、2大工事※1後、職員の適正配置及び人件費の削減など、より一層の経営効率化に取り組んでいく。

※1/2大工事⇒片山浄水場2期工事、南千里片山送水管布設

結論 採決の結果、**全会一致で可決**しましたが、引き続き、近隣市との広域連携、官民連携、さらなるダウンサイジング、組織のスリム化など、水道部の答弁の通り、経営効率化が進められていくのか、引き続きコスト削減の徹底を求めています。



絆の会通信

～誇れる吹田を次世代へ～

吹田市議会議員

沢田なおきの議会活動

今号のTOPIX

- 『水道料金の値上げについて』
- 安威川、神崎川の氾濫の可能性と想定される被害について
- 地車の伝統を守り地域振興を図る具体策について(吹田まつりのその後)
- 留守家庭児童育成室料金改定について(学童保育)



いじめの重大事態について

続報!!

吹田市立小学校で生じた「いじめの重大事態」の第3者委員会調査報告書、被害者保護者の所見、大阪府教委の処分等の理由で、『職務怠慢』『無責任』『管理能力なし』さらには、**いじめ防止対策推進法第8条、第22条、第23条3項に違反している**と明言された当時の校長の処分結果が**懲戒処分の中で一番軽い「戒告」**(要は厳重注意)と発表されました。報告書等の内容からすれば、かなり軽いという印象ですが、何よりも驚いているのが、そのような評価を受けている校長が今でも、吹田市内の別の小学校で校長をされていることです。そこでいくつか吹田市教育委員会に質問をしました。



質問① 任命権は府にあるが、人事は市の内申を持って行うとのこと。年度途中ではあるが当該校長は人事異動させるべきでは?

教育委員会 人事異動については考えていない

質問② そのまま校長として残すことに、保護者の理解が得られると思うのか?

教育委員会 処分は当時の校長の全ての勤務状況について下されたものではない。当該校長も深く反省し、二度と起こさないという強い決意で職責を果たしている。

質問③ 教育委員会と保護者の意見と乖離がありすぎる。一度、学校主催でなく教育委員会事務局主催で保護者とのタウンミーティングを行い、意見交換をしてみようか?

教育委員会 PTAとは行っているが、保護者全般と意見交換する予定はない

質問④ 人事権は府教委、服務監督権は市教委にあることで、責任の所在が分かりにくい。大阪府から吹田市に教員人事権の移譲を検討してはどうか?(豊能地区では実施中)

教育委員会 「人事権」だけでなく、「定数決定権」「学級編成基準の決定権」「給与負担」の4つの権限がすべて移譲されるのなら検討する。

沢田の見解

7月、9月、11月議会、文教市民委員会などで「いじめの重大事態」について毎回、取り上げていますが、制度的な欠陥を是正するには国や府の方針が変わらなければ、市教委のみでできることは限られています。先日、柴山前文科大臣に直接、「副担任制度」、「少人数学級」等の実施に向けた予算措置等要望をしましたが、今後は市議会だけの活動だけでなく、府や国への要望にも力を入れていきたいと思います。

市政相談受付中! メール、電話、SNS又は連絡事務所、会派控室まで、お気軽にご相談ください。

連絡用メール naokisawada2002@gmail.com

連絡事務所 〒564-0022 吹田市末広町2-9

自民党控室 TEL06-6337-6851 FAX06-6337-6852 〒564-0041 吹田市泉町1-3-40 吹田市役所中層棟3階

SNSに関する情報待ち

吹田市議会議員(2期) 沢田なおき / プロフィール

S52/5/29会社員の長男として生まれる/ 末広町在住/2児のパパ
玉川学園幼稚園→東山田小学校→千里丘中学校→大阪学院高校→ロンドン留学2年半→関西学院大学法学部政治学科卒業
民間企業勤務を経て、議員秘書、予備自衛官

趣味 サッカー、ジョギング(フルマラソン3時間54分)、旅行(海外23か国・地域訪問)、読書(歴史・政治経済)

家族構成 妻、長男4歳、長女2歳

所属委員会 文教市民常任委員会 委員 北大阪健康医療都市(健都)のまちづくり等検討委員会 委員長



安威川、神崎川等の氾濫の可能性と対策について

昨年、10月ごろ、皆様のご自宅に洪水ハザードマップ及び内水ハザードマップが届いたと思います。以前から、JR以南地域の多くは1.0m以上の浸水想定区域に指定されていましたが、近年、何十年に1度と言われる集中豪雨が毎年のように降る中、今までの想定で大丈夫なのかという不安の声をよく耳にいたしました。それらの声も踏まえて、今議会で、想定降雨量や被害対策を中心に質問をいたしました。



沢田の質問より分かったこと

- ①洪水ハザードマップでは200年に1度の大雨として、90mmを想定しているが、吹田のこれまでの最大雨量は65mm/h(今年の台風19号で最大95mm/h)
- ②淀川流域では浸水シミュレーションで想定する雨量に達したことはない
- ③安威川ダムの完成により、洪水に対するリスクは軽減。浸水想定区域も軽減。(令和3年度完成予定)

今後の対策

- ①治水対策として、安威川ダム建設と上の川の雨水管整備に取り組み中
- ②開発業者に雨水流出抑制施設の設置を義務化
- ③河川への流出抑制を目的として、既存のため池を活用した治水対策を大阪府と連携
- ④自身や家族がとるべき行動について時系列に整理したマイタイムラインの作成
- ⑤大阪府と各河川の流域自治体が連携して、ワークショップや会議を開催し、共通のタイムラインを作成

沢田の見解

どれだけ対策を講じて、絶対に安全ということはありません。まずは、市民ひとりひとりが日ごろから備え、避難場所を確認し、市民自らの判断で避難行動できるよう、市には情報発信強化、各種啓発に力を入れていくよう要望していきます。

吹田まつりの今後について【～(仮称)吹田だんじり祭り開催に向けて～】

これまでの経緯

吹田まつり3会場(JR吹田駅周辺・千里南公園・江坂公園)を
来年以降は、⇒「万博記念公園に集約」
(吹田まつり実行委員会発表)



新しい吹田まつりの名称は

『すいたフェス2020』へ。

新しい動き

令和元年11月、自民党・公明党・共産党・大阪維新の会吹田の
JR以南地域を中心に活動している超党派議員5名で、
「**地車の伝統文化を守り地域振興を図る議員連盟**」(通称 **だんじり議連**)を発足。

『吹田まつり』が万博記念公園に集約されることで、地車の唯一の曳行の機会と、毎年、吹田会場(本祭り)だけで約25,000人が来場する地域活性化の機会の両方が失われようとしている中、それだけは避けようと、思いを共有した5名の議員が党派の垣根を越えて結集し、市長、副市長、関係理事者に、以下、3点要望しました。

- ①地車の伝統文化を守るために必要な支援の継続
- ②地車の曳行を含めた地域振興を図る行事への財政的・人的支援の検討
- ③吹田市有形民俗文化財の地車を市民や子どもたちが知り、学ぶ機会の創出

この要望書に沿って、
今回の11月定例会でも
質問しました。

質問①

来年8月2日開催予定の「(仮称)吹田だんじり祭り」への道路許可等の警察協議への協力、人的、財政的な協力はするののか？

都市魅力部長 道路許可等の関係機関との協議について市として協力する。財政的支援についてもイベント開催に係る経費の補助を検討している。職員派遣は考えていないが、側面支援をしていく。

質問②

その支援は、来年のみの単発の支援なのか？持続的なイベントにするためには、地域が必要なら継続的に支援していくべき。

都市魅力部長 継続して支援していく。

質問③

吹二小学校では副読本を活用し、また、地域の協力も得て積極的に地車と触れ、学ぶ機会を創出している。他の地域でも「吹田市有形民俗文化財」である地車に触れ、学ぶ機会を増やすことで、吹田の歴史や文化を知り、郷土に愛着を持つことに繋がるのではないのか。

教育委員会 吹田市有形民俗文化財である地車に実際に触れることは、地域社会に対する誇りと愛情を養う重要な方法の一つであると捉えている。今後も体験的に学ぶ機会の充実がさらに図られるよう、努める。

都市魅力部長 来年秋予開催予定の「オータムフェスタ」で吹田の歴史や伝統を知り、市への愛着と誇りを醸成できるよう進めていく。

(仮称) 吹田だんじり 祭りの今後

現在、有志による実行委員会が立ち上がり、私が会長を拝命している「だんじり議連」も実行委員会に参画しました。今後は、JR以南地域が一体となって、吹田まつりに代わる、**JR吹田駅前周辺を中心とした地域密着型の祭り**となるよう、極力、実行委員会の輪を拡げていきたいと思っております。

留守家庭児童育成室(学童保育)の委託事業者選定について(東、山手、高野台)

吹田市の方向性

指導員の人材確保と育成が課題となる中で、増加し続ける児童を受け入れていくため、**全36育成室の3分の1を目処に民間事業者への業務委託を実施**

問題点

- 対象事業者の要件を緩和後、選定された業者の運営能力に問題があり、業務委託後、1年後には直営に戻す。
- 現在、指導員が38名不足。待機児童も発生。
- 前回の東育成室委託業者選考の際は、選考委員によって最高点81点、最低点36点と採点に差が出すぎた。評価基準に満たず不採用。

今回の事業者選定では「山手」のみ委託事業者決定(東、高野台は2次審査通過事業者がありませんでした。)

沢田の従来の意見・提案

(令和元年9月定例会文教市民委員会での要望)

- 1 恣意的な選考にならないよう評価項目、審査基準等の改善すべき
- 2 指導員の定着率を上げることが、保護者の安心や待機児童を出さないことにも繋がるので、**指導員の待遇向上**に努めるべき。
- 3 保育環境(エアコン、畳、床、ロッカー、)を向上させ、**子供たちを安心して預けられる環境を整備**すべき
- 4 ②と③の向上のためには吹田市は近隣他市と比較して利用料がかなり安いので、負担をいっくらお願いしてでも実施してはどうか。または、茨木市のように所得により利用料に差を設けてはどうか。**安かろう悪かろうではダメ!**

※吹田市 3700円、摂津市4500円、箕面市5700円、豊中市6000円、高槻市6500円、茨木市0円～8000円(所得による)

今議会では…

③、④の指摘を受け、市は月額利用料300円アップ(延長料金500円値下げを提案)料金改定で得た財源(約581万円)を子どもたちの保育環境整備へ使用

全会一致で可決!!

沢田の意見

今後は所得に応じた料金設定を検討するなどし、財源を確保した上で、指導員不足解消を図り、
①開室時間の延長(平日19時まで) ②休業期間中は8時～開室へ ③土曜日の開室を月1回から毎週へなど、市民サービスの改善に努めるべきと要望